

淡江大學 110 學年度進修學士班寒假轉學生招生考試試題

系別：日本語文學系三年級

科目：中級日語及語法

6-1

考試日期：1月19日(星期三) 第1節

本試題共 四 大題， 2 頁

本試題雙面印刷

一、單選題，閱讀測驗：請仔細閱讀文章，從（ ）選擇適當選項。(40%)

放送局での仕事が思いがけず早く終わったので、四ツ谷駅前の新道にある中村さんの店 (1) (a. を b. が c. に) 寄ってみた。中村さんは畳屋の主人である。店は小さいが裏手に大きな仕事場を持っている。東京で五輪大会が開かれた年の暮れから三年間、私はその仕事場の二階 (2) (a. に b. で c. を) 借りていた。八畳の台所付き食堂に六畳が二間と (3) 四畳半 (読みは：a. しじょうはん b. よんじょうはん c. よじょうはん)、その上広い風呂場と風通しのいいベランダ (4) (a. まで b. より c. ばかり) あって、(5) 家賃 (読みは：a. やちん b. いえちん c. けちん) は月四万五千円だった。当時の相場の二割方は安かったと思うが、それはとにかくそれほど間取りを上 (6) (a. で b. に c. は) 載せることができる (7) (a. ぐらい b. まで c. より) 中村畳店の仕事場は大きいのである。その二階 (8) (a. で b. に c. を) 今は長男の英夫君夫婦が住んでいる。中村さんは王の新政権の発足を報じるスポーツ紙を眺めながら、茶筒 (9) (a. で b. に c. は) 入れた煎餅をかじっていたが、私を見ると、「ここへ来て、おやつをつきあってやってくださいよ。」

と、針だこでたらこ (10) (a. ように b. みたいに c. そうに) 膨れあがった指で火鉢の横の畳を軽く打った。スポーツ紙の (11) 見出し (読みは：a. けんだし b. みでし c. みだし) に誘われて話題は自然に野球のことになったが、そのうちに中村さんは急に膝を進めてきて、「新道少年野球団は強かったねえ。」

ライオンズもジャイアンツも問題じゃないとでもいう (12) (a. ような b. そうに c. らしい)、力の入った口調で言った。(中略)

上智大学の学生 (13) (a. を b. が c. に) 増え、近くに大会社のビルがいくつも建ったせいで、車幅四メートル、長さ百メートル足らずのこの新道は四谷 (14) (a. で b. に c. を) いちばんにぎやかな場所になった。もっとも軒を並べる店は飲み屋に食べ物屋に喫茶店のどれかに限られてしまい、客を迎えるだけの、厚化粧だが、なんだか素っ気のない小路に化けてしまったことも確かだ。十七、八年前を同じ店構えでがんばっているのは、新道入り口のワイシャツ店と、小路の奥のこの畳屋 (15) (a. ほどの b. ぐらいな c. ばかりの) ものである。当時の新道には生活があった。豆腐屋があり、ガラス店が、お惣菜屋が、ビリヤード屋が、そして主人が会社勤めの普通の家があった。四ツ谷駅の方から新道を (16) (a. を b. まで c. で) 抜けようとする人は、緩やかな勾配の坂を登ることになるが、その坂の真ん中の辺りには歌舞伎役者の大和屋 (十世岩井半四郎) の住まいもあって、夏の宵などには、白木造りの玄関の前の、狭いがよく打ち水した石畳の上で、大和屋が中学生のお嬢さん二人と (17) (とても b. よく c. あまり) 線香花火をしていた。二人のお嬢さんはやがてよく知られた女優になるのだが、ひと言で言えば、その頃の新道は (18) 自足 (読みは：a. じあし b. じぞく c. じそく) していたのである。たいていの日用品は新道の中にある店屋 (19) (a. が b. を c. で) 十分に間に合っており、それらの店屋はまた新道に住む人たちだけを相手にして、とにかく暮らしが (20) (a. 送って b. 立って c. 過ぎて) いた。

(井上ひさし『ナイン』講談社文庫)

背面尚有試題

淡江大學 110 學年度進修學士班寒假轉學生招生考試試題

系別：日本語文學系三年級

科目：中級日語及語法

6-2
#

考試日期：1月19日(星期三) 第1節

本試題共 四 大題， 2 頁

二、詞彙變化：請依照句子前後文的意思並配合句型，把()的詞彙做適當變化。(20%)

1. 私では_____かねますので、担当の者を呼んでまいります。(わかる)
2. 体に悪いと_____ながら、どうしてもタバコをやめられない。(知る)
3. 父親に_____以来、彼はまじめに勉強するようになった。(注意する)
4. 久しぶりの旅行だから、海外に_____ものなら行ってみたい。(行く)
5. どの大学に進学するか、両親とよく_____上で決めたいと思います。(相談する)
6. 株の売買に手を_____ばかりに10万円も損をしてしまった。(出す)
7. 彼とは高校の卒業式で_____きりもう5年も会っていなかった。(会う)
8. テーブルの上に_____かけのコーヒーカップが置いてあった。(飲む)
9. みんなの前で今度の試合で必ず勝つと_____ものの、本当は自信がない。(約束する)
10. 夫が妻の話を_____ことから夫婦げんかが始まった。(誤解する)

三、單選題：請仔細閱讀句子，從()選擇適當選項。(20%)

1. 面倒な仕事だが、(a. どうも b. どうか c. どうせ) やらなければならないのだから、早くやっつけてしまおう。
2. 一流選手がそろったこの大会で、(a. きっと b. はたして c. とうとう) 誰が勝つのだろうか。
3. 弟はゲームに (a. 集中 b. 夢中 c. 熱中) だ。呼んでも返事をしない。
4. 交差点の近くには安全運転を呼び (a. かける b. つける c. 入れる) ポスターが張られている。
5. もう4月だというのに、(a. すっかり b. さっぱり c. どっきり) 気温が上がらない。
6. 彼は (a. これといった b. あれといった c. なんとといった) 技を持っているわけではないが、試合では負けない。
7. 雨もあがった (a. ところを b. ばかりで c. ことだし) そろそろ家に帰ろう。
8. 彼は嫌なことがあってもだれにも文句を言う (a. こと b. わけ c. わけ) なく働き続けた。
9. 子どもは成長する (a. につづいて b. にわたって c. にしたがって) 行動範囲が広がるものだ。
10. 田中さん (a. さえ b. のみ c. こそ) 私が最も信頼している人物です。

四、句子重組：請將下列詞彙組合成意思通順的句子。(20%)

※注意：重組的句子詞彙排列組合不合乎日文文法邏輯整句無分數。

1. のに／飲まなかった／コーヒーを／悪い／あげた／彼は／せっかく／胃の具合が／言って／いれて／と
2. 疑問である／大丈夫だ／言う／部長は／成功できる／かどうか／と／が／はたして